

新風

SHINPU

前川おさむ後援会会報

vol. 7 号

平成5年6月

未来を築く新しい風

菊池

新時代をめざして!!

来る7月11日に施行される県議会議員選挙に立候補することを決意いたしました。

今、菊池は大きな「変革の時代」をむかえております。

今回の市長選はその象徴であろうと思います。

2万8千市民の皆様へ、等しく公平、公正な立場にたち、議員の職を自らの名誉や権力の為ではなく、市民の皆様と共に「知恵をだし、汗を流す政治」を目指して、我々の郷土「菊池」の為、そして熊本県の為に32才の若い情熱と行動力を活かしていきたいと思っております。ぜひ皆様の心温まる御理解と御協力を御願いたします。



愛郷無限 前川収

市民と共に、知恵を出し

汗を流す政治!!

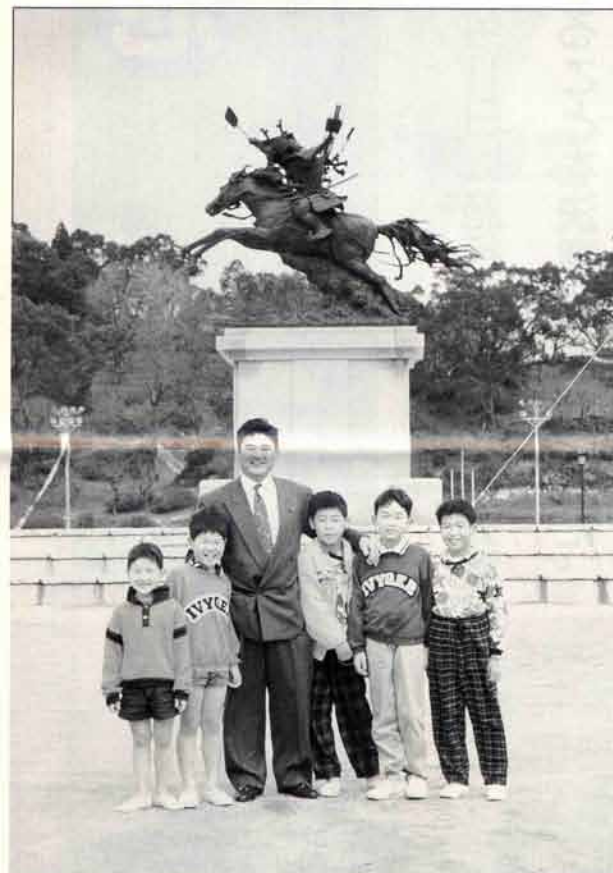
- 行政主導型の住宅用地の造成
- テクノポリス計画のモデル団地の誘致
- 市内全域にわたる、快適住環境の整備
- 在宅福祉の充実

- 文教菊池の再現
- 伝統文化の継承、創出
- 地域ボランティアの育成



基本政策

- 農業の生産基盤の整備はもちろん、農産物の流通や市場性まで視野にいれた具体的な農家所得の向上の為、努力します。
- 高齢者や心障者の皆さまの安心感を市民の生活水準のバロメーターとしてとらえ、その充実に努めます。
- 豊かな自然環境と調和のとれた優良企業の誘致と既存企業の育成に努めます。
- 市街地の活性化について土地区画整理事業と特定商業整備法を活用して、本市の歴史・伝統を生かした個性豊かな街づくりを目指します。
- 通過型の観光地から古い歴史や自然環境を活かした滞在型の観光地を目指し観光と農業、観光と商業の経済的結合を図ります。



すべての市民が豊かさを感じる“快適生活空間・菊池”を目指す。

荒木市長、市長選の真相を語る。

「議会報告」

六月定例議会、高宗昭範議員の一般質問より……

質問——「市長選挙について」

今回の市長選挙の中の、ある議員の街頭演説によると、その演説の内容は、聞く立場の人達にとっては、言外に次の様にも聞きとれる、つまり、市長の辞意も、後継者指名も、ある圧力によって造られた立候補辞退であり、限られた人達によって造られた後継者指名である。話を聞いた多くの市民は、その様に思い込んでいる節もあります。

もしも、立候補の辞退も、後継者の指名も荒木市長自らの意志に基づく決断でなくして、ある一部の人達の強要によってなされたものであるとしたら、菊池精神を説く荒木市長は将に虚像であるといわざるを得ません。

事の真相を、73才の今日まで、生涯をかけて守り育てられた、人間荒木修の名誉と人権を守る上からも、議会を通じて、市民の前に明らかにしていただきたいと思えます。

この質問に対して、荒木市長は以下のように答弁されました。

荒木市長—— 只今は市長選にかかわる高宗先生の誠に御好意深きご質問を頂きありがとうございます。これにつきお答え申し上げます。

前に、私は先ず過ぐる今回の市長選挙におきまして、私の思いがけない心身の不調不始末故に、私自身、意志と全く違う結果になりましたばかりでなく、かねて私を限りなく信頼頂き、御支援、御推挙頂いておりました多くの市民の皆様の思いを無下に踏みにじりましたことに對し、「これがたとえいわゆる天命であった」と致しま

しても誠に申し訳なく断腸の思い耐え難いところでありまして、私は今、万感の思いを込めて、議会並びに、それを通じ、全市民の皆様にも正式にお詫びを申し上げるものでございます。

さて、お尋ねの私の立候補辞退の件は、何等かの外圧によるものか、それとも私自身の判断、意志決定によるものであるか、とのこととありますが、これはズバリ申し上げまして、一〇〇%私自身の意志決定によるものでございまして、それ以外の何者でもございません。

かねて菊池精神の高揚を説き続けて参りました私が、左様な「邪」な部外者の圧力に對しましては、「死を賭しても猛然と逆襲する」とはございまして、それに負けること断じてないということは皆様とくと御承知の通りであります。部外からの引き下ろしの事実はいくも存在しなかったことを重ねて証明致します。

次に、然らば何故に私が福村氏を、私の身代わりの市長候補として、ご指名させていただいたか、ということとありますが、結論から先に申し上げます、福村氏ならば私が常日頃考えて参りました、向こう4年間の大変難しい市行政の大綱をとにかく継承し、やり遂げてくれる手腕の持ち主ではなからうかという判断があったからであります。

三日三晩一睡もせず呼吸困難の生死の境をさまよう中で、市の人口増、五〇〇戸の住宅団地建設、市街地の区画整理など次々に十ヶ条の公約対策がかけめぐり、万一にも私の死後、これを継承、実現してくれる人物はという自らの問いに對し、明確に浮んで参りましたのが、福村氏の政治的、行政的手腕でありました。それは市の将来を思う私の心の中で決断されたものであり、かりそめにも福村氏個人やその一派の方々のためではございません。このことは、特に明確に申し上げます。

今後どなたが市長になられましても、どうか議会ともどもこの思いを、継続して頂きますことを念じまして、この件に関する私の答弁とさせていただきます。

前川おさむプロフィール

- 生年月日/昭和35年7月9日
- 血液型/O型
- 主な役職/菊池市議会総務委員長
菊池市商工会理事
菊池市商工会青年部理事
(社)菊池青年会議所監事
熊本県防衛協会青年部菊池支部長
菊池市水泳協会顧問
熊本県サーフィン連盟顧問
- 経歴/県立鹿本高校 昭和54年卒業、九州測量専門学校土木建設科 昭和56年卒業、平成4年カリフォルニアコースト大学経営学部卒業、東海測量設計社 昭和56年入社 昭和59年退社、株キクチゴルフセンター 昭和59年創立、菊池市議会議員 昭和63年初当選(1期)、菊池市議会議員 平成元年当選(2期)、平成5年当選(3期)



前川おさむ後援会

仮設事務所 〒861-13
菊池市大字大琳寺184-1
TEL0968・24・2171
25・2169

出陣式の御案内

いよいよ出陣です。
何としても勝たねばなりません。総力を結集して頑張ります。
友人、知人もお誘い合わせの上、多数の御来場をお待ち申し上げます。

とき 平成5年7月2日(金)

午前9時

ところ 菊池神社

【後援会仮設事務所案内図】

